

## 新年北陸地区特集

# 地域で一番にこだわり

## FBモル 環境配慮型埋め戻し材

### 福井宇部生コンクリート

福井宇部生コンクリート（南谷哲彦社長）は、2020年の県内で初となる設計基準強度（Fc）80N/mm<sup>2</sup>の高強度コンクリートの大臣認定取得など、「地域一番」にこだわって技術力を磨いて

「FBコン」は元々、ひび割れ抑制対策として開発した。01年のグリーン購入法の施行を受けて、公共工事で高炉セメントB種の使用が指定される物件が増加。同社でも高炉セメントB種を使ったコンクリートを出荷していたが、それと同時に硬

化コンクリートのひび割れのクレームが多くなっていた。これを解決するため、本四架橋で三成分系セメントが採用された実績があったことから、同社で03年から標準化を検討し、将来的なアルカリシリカ反応（ASR）抑制の目的も加えて、FAの添加率はセメン

ト質量の20%とした。強度発現などの性状を確認して、03年にはJISだけでなく、福井県リサイクル製品認定も取得した。04年から3年間は、福井県、福井大学と共同研究を行い、温度た



福井宇部生コンクリートのプラント

め、国土交通省や県発注工事ではこれまでに2万量超を出荷した。FBコンで培ったFA利用の経験を踏まえ、同社は北陸新幹線の延伸工事（金沢～敦賀間）に、早強セメントとフライアッシュ（FA）を結合材に使用したコンクリート納入。FAコンクリートの色むら抑制に向けた研究を行っている。駐車場などで採用される土間コンは強度や耐久性のハードルが低く、結果すれば、外部にも公表していく方針だ。

同社では現在、FBコンを「元祖、環境配慮型コンクリート」と一生モノの買い物である住宅の駐車場で、美観が品質と認識されやすい「石川常務」という。これまでの3者による研究で、「テ仕上げの回数」が、色むらの濃淡に関係していることを突き止めた。そこで同社は現在、混和剤メーカーと仕上げ回数の影響を受けにくくする生コン配合や、コ

「FBコン」は元々、ひび割れ抑制対策として開発した。01年のグリーン購入法の施行を受けて、公共工事で高炉セメントB種の使用が指定される物件が増加。同社でも高炉セメントB種を使ったコンクリートを出荷していたが、それと同時に硬

化コンクリートのひび割れのクレームが多くなっていた。これを解決するため、本四架橋で三成分系セメントが採用された実績があったことから、同社で03年から標準化を検討し、将来的なアルカリシリカ反応（ASR）抑制の目的も加えて、FAの添加率はセメン